

資料No.1

加東市健康増進計画の進捗状況

保健事業の方針

加東市健康増進計画(第3期)「かとう健康・笑顔・まちプラン」(令和2年度～令和6年度)は、よりよい生活習慣の実践と健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を通じて、市民一人ひとりの生涯を通じた主体的な健康づくりを推進し、全ての市民がいいきいと笑顔が広がるまちづくりを目指すための計画です。

この計画に基づき、関係機関との協働連携により、市民の主体的な健康づくりを支援します。

■計画(保健事業)の目的

子どもから高齢の方まで、ともに支え合いながら、希望や生きがいを持ち、健やかで心豊かに暮らせるまちの実現を目指します。

■施策方針

- 一人ひとりが主役、笑顔ですすめる健康づくり
- 愛情たっぷり、こころつながる健康づくり
- 健康でしあわせに暮らせる地域づくり

■キャッチフレーズ

健康づくりで笑顔を広めよう！ こころもからだも元気なまち かとう

■健康づくりの施策体系図



第1章	生活習慣病予防等の健康づくり
1 生活習慣病予防の推進	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	様々な機会を活用して、健診の普及啓発や生活改善に向けた指導、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう啓発できた。しかし、評価指標では、前年より改善している項目はあるものの、いずれの項目も目標には達していない。	A

◆取組み方針

- ・悪性新生物や心疾患等、生活習慣病に起因する疾病の予防、早期発見、早期治療のための事業や取組を推進します。
- ・若い年代層を中心に、各種検診の定期的な受診について周知、啓発を行います。

◆5年間の指標と目標

取組み内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
ほぼ毎日体重測定をしている人の割合（％）	男性	— 15.5	— —	— —	— —	— —	— —	19.0	
	女性	— 32.6	— —	— —	— —	— —	— —	36.0	
成人肥満者（BMI25以上）の割合の減少（％）	男性	— 29.7	29.3 29.1	28.9 31.6	28.5 33.6	28.0 33.8	27.5	27.0	
	女性	— 17.1	16.8 17.2	16.5 17.9	16.2 17.7	15.8 18.0	15.4	15.0	
メタボリックシンドロームを認知している人の割合（％）	男性	— 81.5	— —	— —	— —	— —	— —	90.0	
	女性	— 81.7	— —	— —	— —	— —	— —	90.0	
特定健診受診率（％）		— 39.4	40.3 41.9	41.2 36.2	42.1 37.7	43.1	44.0	45.0	
特定保健指導実施率（％）		— 54.5	56.2 53.5	57.9 35.8	59.6 40.8	61.4	63.2	65.0	

※令和4年度特定健診法定報告は未公開

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
健診の普及啓発	A	広報誌やケーブルテレビ、市ホームページ、母子手帳アプリ、保健事業で幅広い世代に普及啓発を行った。
健診の受診率向上に向けた取組	A	受診率向上に向け、まちぐるみ総合健診を冬季に1日追加実施した。追加実施にあたり、未受診者に郵送で受診勧奨を行った。また、広報誌やケーブルテレビ等で健診に関する周知を行った。その結果、まちぐるみ総合健診受診者数は前年度より増加した。 総受診者数 3,863人（R3：3,779人）

令和4年度加東市健康増進計画推進評価シート

取組名	評価	評価の根拠
生活改善に向けた指導の充実	B	健診当日の保健指導や健診後に健診結果個別相談会を実施し、ハイリスク者等の指導に努めたが、健診当日の保健指導者数および健診結果個別相談会参加人数は、前年度より減少した。 健診当日指導数 217人 (R3:317人) 健診結果個別相談会参加人数 49人 (R3:57人)
取組名	評価	評価の根拠
精密検査の確実な受診	B	ケーブルテレビで、精密検査の受診啓発を行った。また、早期に受診が必要な方に訪問等で受診勧奨を行った。しかし、精密検査受診率は前年と比較して、低下した。 特定健診精密検査受診率 25.3% (R3:30.4%)
取組名	評価	評価の根拠
市民の主体的な健康づくりに向けた啓発	A	広報誌やケーブルテレビを活用して、市民に健康づくりに関する情報提供を行った。また、健(検)診時に健康手帳を活用した健康管理の推奨を行った。 健康手帳交付数 215人
課題と今後の方向性		
<p>様々な機会を活用して、健診の普及啓発や受診率向上に向けた取組み、健診後のフォローを行ったが、受診率は目標に達していない。今後も幅広い世代、特に若年層への生活習慣病予防対策や健診受診率の向上に関する取組みをさらに強化していく。</p>		

第1章	生活習慣病予防等の健康づくり
2 がんの早期発見と予防対策の推進	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	あらゆる機会を通してがんに関する知識の普及・啓発を行った。また、幅広い世代が受診しやすい体制の整備に努め、全てのがん検診で前年より受診率が増加したが、子宮頸がん以外は目標を下回った。	A

◆取組み方針

- ・がんの発症リスクを高める危険因子や症状について啓発を行い、がんに関する情報提供を進めます。
- ・がん検診の重要性を周知し、受診しやすい体制を整えることで、がん検診受診率の向上やがんの早期発見、早期治療を推進します。
- ・がん対策に係る団体や関係者との連携を進め、予防対策や早期発見を推進します。
- ・がん対策基本法に基づくがん対策を推進します。

◆5年間の指標と目標

取組み内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
がん検診受診率（胃がん）（%）	男性	－ 15.7	16.0 15.5	16.3 9.9	16.6 11.0	16.9	17.2	17.5	
	女性	－ 7.7	7.9 7.2	7.9 5.1	8.1 5.5	8.4	8.7	9.0	
がん検診受診率（肺がん）（%）	男性	－ 31.0	31.5 30.9	32.0 26.7	32.5 27.0	33.0	33.5	34.0	
	女性	－ 25.6	26.0 25.4	26.4 21.7	26.8 23.8	27.2	27.6	28.0	
がん検診受診率（大腸がん）（%）	男性	－ 27.8	28.3 27.2	28.8 24.3	29.3 24.8	29.8	30.5	31.0	
	女性	－ 22.6	23.0 22.7	23.4 20.0	23.8 21.4	24.2	24.6	25.0	
がん検診受診率（子宮頸がん）（%）		－ 14.5	15.0 14.9	15.5 14.3	16.0 18.6	16.5	17.0	17.5	
がん検診受診率（乳がん）（%）		－ 21.0	21.7 21.3	22.4 19.8	23.1 22.2	23.9	24.7	25.5	

※令和4年度兵庫県がん検診受診率は未公開

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
知識の普及	A	ケーブルテレビ等でがんの発症リスクを高める要因（生活習慣等）についての知識の普及啓発を行った。
発症予防	A	ケーブルテレビ等でがんの発症リスクを高める要因（生活習慣等）についての知識の普及啓発を行った。
がん検診の受診促進	A	まちぐるみ健診の周知啓発を広報誌や保健事業等で行い、受診促進に努めた。また、一部の検診項目で節目年齢の方の受診料金を無料にする等、受診しやすい体制づくりを図った。

令和4年度加東市健康増進計画推進評価シート

取組名	評価	評価の根拠
女性のがん検診の受診促進	A	広報誌やケーブルテレビ、乳幼児健診、母子手帳アプリ等で女性のがんに関する知識の普及啓発を行った。また、祝日（または休日）の実施や託児日を設けるなど、受診しやすい体制づくりを図った。
取組名	評価	評価の根拠
男性のがん検診の受診促進	A	50～70歳の5歳刻みの節目年齢の男性を対象に、検診費用を無料とし、受診しやすい体制づくりを図り、受診人数が前年度よりも増加した。 前立腺がん検診受診人数 866人（R3：826人）
取組名	評価	評価の根拠
精密検査の確実な受診	B	がん検診精密検査未受診者に対し、文書や電話で受診勧奨を行い、精密検査受診率は、多くの検診項目で前年より増加しているが、胃がん乳がんでは昨年度より低下した。また、目標に達している項目は子宮頸がんのみである。 【精密検査受診率】 胃がん:69.7%（R3:85.2%） 肺がん:77.5%（R3:76.7%） 大腸がん:71.4%（R3:68.3%） 前立腺がん:70.6%（R3:66.7%） 子宮頸がん:93.8%（R3:78.9%） 乳がん:78.6%（R3:80.9%）
取組名	評価	評価の根拠
がんに罹患しても安心して暮らせる環境の整備	A	がん患者アピアランスサポート事業により、抗がん剤治療などによる外見の変化のため、医療用ウィッグや乳房補正具を購入した方に購入費用の一部を助成し、身体的・精神的負担の軽減を図った。（助成人数：8人） また、若年者在宅ターミナルケア支援事業については、令和4年度は利用者はなかったが、利用できる体制は整っている。
課題と今後の方向性		
がんに関する知識の普及や受診促進に関する取組みを推進したが、評価指標では、受診率は前年より増加しているものの、子宮頸がん検診を除き、目標に達していない。今後も継続してがんに関する情報提供や、より受診しやすい体制を整え、受診率向上を目指していく。		

第1章	生活習慣病予防等の健康づくり
3 生活習慣病の重症化予防	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	新型コロナウイルスの影響も考慮し、生活習慣病の発症や重症化予防に向けた取組みを実施したが、生活様式の変化によるせいか、一部の評価指標で前年度より悪化した項目がみられた。	A

◆取組み方針

- ・高血圧性疾患、脂質異常症、糖尿病による医療機関への受診が多いことから、継続的な治療の支援を通じて個々の生活習慣の改善を促し、疾病の重症化予防を図ります。
- ・生活習慣病について、正しい知識の普及啓発を行うことで、特定健診や特定保健指導の受診率を向上させ、生活習慣病の発症を予防します。
- ・特定健診受診者における保健指導対象者については、最後まで支援プログラムを継続できるよう積極的な推奨を行うとともに、要指導者の支援レベルや個々の状況に応じた内容を検討します。
- ・健診結果から医療機関受診が必要な人に対し、受診の必要性を伝え、早期受診、治療の継続を行うことで生活習慣病の重症化を防ぎます。

◆5年間の指標と目標

取組み内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少（％）	予備群	－ 10.9	10.7 9.9	10.6 10.6	10.4 9.7	10.2 12.4	10.0	9.8	
	該当者	－ 16.7	16.4 17.6	16.2 17.5	15.9 19.1	15.6 18.0	15.3	15.0	
血圧高値者の割合の減少（血圧140mmHg以上または90mmHg以上）（％）	男性	－ 42.0	41.3 42.2	40.6 50.8	39.9 50.8	39.1 43.1	38.3	37.5	
	女性	－ 35.4	34.8 33.1	34.2 42.0	33.6 40.8	32.9 38.1	32.2	31.5	
血圧高値者の改善（収縮期血圧の平均値の低下）	男性	－ 136.3	135.3 135.6	134.3 104.2	133.3 139.5	132.2 136.8	131.1	130.0	
	女性	－ 131.6	130.5 130.8	129.4 134.9	128.3 134.9	127.2 132.6	126.1	125.0	
脂質異常症の割合の減少（LDLコレステロール160mg/dl以上）（％）	男性	－ 11.5	11.4 10.3	11.3 8.0	11.2 8.5	11.1 8.1	11.0	10.8	
	女性	－ 11.3	11.2 12.4	11.1 12.1	11.0 13.2	10.9 13.1	10.8	10.6	
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（％）		－ 0.9	0.9 0.6	0.9 0.5	0.9 0.5	0.9 0.9	0.8	0.8	
血糖の高値者の割合の減少（HbA1c6.5以上）	男性	－ 13.0	12.8 16.4	12.6 9.8	12.4 11.2	12.1 13.0	11.8	11.5	
	女性	－ 5.2	5.1 6.7	5.0 4.8	4.9 5.1	4.8 4.5	4.7	4.5	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
発症予防	B	ケーブルテレビや広報誌等にて生活習慣についての正しい知識の普及啓発やまちぐるみ総合健診の受診勧奨を行ったが、評価指標ではメタボリックシンドロームの割合や血圧高値者の割合などの項目は目標を下回った。

令和4年度加東市健康増進計画推進評価シート

取組名	評価	評価の根拠
重症化の予防	A	健診結果から、要指導者の支援レベル（特定保健指導や早期受診勧奨等）に応じ、訪問や電話にて重症化予防に向けた支援を行った。
取組名	評価	評価の根拠
地域保健体制の推進	A	地域医療連絡会を開催し、健康福祉事務所や医師会等の関係機関とネットワークの推進を図った。
課題と今後の方向性		
<p>生活習慣病の発症や重症化予防に向け、知識の普及啓発や受診勧奨、個別支援を行ったが、評価指標では、悪化している項目もあり、今後も市民のライフステージに応じた支援を継続できるよう、関係機関とも連携し、取組を推進していく。</p>		

第2章	将来を担う次世代の健康と生涯現役社会づくり
1 妊産婦や乳幼児期からの健康づくりの推進（加東市母子保健計画）	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
A	様々な機会を通して妊婦への支援や、子どもの健やかな成長と保護者への育児支援を行った。 評価指標を達成していないものもあるが、高い水準で維持できている。	A

◆取組み方針

- ・身近な人からの育児サポートが得られるよう、家庭内での協力体制の充実に向けて支援します。
- ・地域で安心して子どもを産み、育てることができるよう、妊娠期から子育て期において切れ目ない支援に取り組みます。
- ・認定こども園等との連携、協力のもと、子どもの正しい生活習慣の定着に向けた取組を推進します。
- ・地域全体で子どもの成長を見守るとともに、必要時には関係機関と連携して支援します。
- ・子育て世代へのサポート体制の充実や、子育てしやすい環境整備に努めます。

◆5年間の指標と目標

取組み内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値	
パパママクラス（両親学級）参加者の割合（%）	－ 16.4	16.6 14.4	16.8 7.6	17.0 10.0	17.3 15.1	17.6	18.0		
育児支援連絡票（養育支援ネット）による支援件数（件）	－ 50.0	50.0 37.0	51.0 40.0	52.0 48.0	53.0 38.0	54.0	55.0		
育児について相談相手のいる保護者の割合（%）	－ 97.7	98.0 97.8	98.3 99.1	98.7 99.1	99.1 97.8	99.5	100.0		
積極的に育児をしている父親の割合（%）	－ 60.0	60.5 63.5	61.0 66.8	61.5 73.6	62.0 65.3	62.5	63.0		
子育て何でも相談を知っている保護者の割合（%）	－ －	－ －	80.0 73.0	80.0 71.9	85.0 71.6	85.0	90.0		
こどもさんさんチャレンジ参加者割合（%）	－ 84.8	85.5 84.3	86.2 86.9	86.9 80.6	87.6 77.0	88.3	89.0		
事故防止対策を実施している家庭の割合（%）	－ 72.1	－ －	－ －	－ －	－ －	－	75.0		
新生児または乳児の家庭訪問実施率（生後4か月未満）（%）	－ 97.3	97.7 97.0	98.1 96.5	98.5 96.8	99.0 98.1	99.5	100.0		
乳幼児健診受診率（%）	生後4か月未満	－ 98.3	98.5 98.6	98.7 97.8	99.0 99.1	99.3 99.3	99.6	100.0	
	1歳6か月児	－ 99.7	99.7 95.7	99.7 97.2	99.7 98.5	99.8 96.9	99.9	100.0	
	3歳児	－ 98.9	99.0 97.6	99.1 99.2	99.3 97.4	99.5 96.7	99.7	100.0	
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合（%）	生後4か月未満	－ 87.0	87.5 89.9	88.0 89.4	88.5 88.3	89.0 89.1	89.5	90.0	
	1歳6か月児	－ 71.3	72.0 77.1	72.5 80	72.5 73.5	73.0 76.5	74.0	75.0	
	3歳児	－ 68.7	68.9 65.7	69.1 72.6	69.3 70.5	69.5 73.7	69.8	70.0	
夜10時以降に寝る幼児の割合の減少（3歳児健診）（%）	－ 20.9	19.5 23.7	18.1 27.9	16.7 26.9	15.3 25.7	13.9	12.4		

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
妊娠期から子育て期における切れ目ない支援	A	母子健康手帳交付時に面接を全数行った。必要な方へは、面接や電話、訪問等を通して切れ目ない支援を行った。 母子健康手帳交付人数 337人
取組名	評価	評価の根拠
子どもの健やかな成長への支援	A	健診の受診率は、一部目標値に達していないが、全ての健診で96%以上の受診率だった。健診や相談等の場を通して子どもの成長発達の確認を行うとともに適切な生活習慣の啓発を行った。未受診者においても、全数把握に努め、子どもの成長発達の確認を行った。
取組名	評価	評価の根拠
支援が必要な子どもや育てにくさを感じる親への寄り添う支援	A	養育支援ネットにより、支援が必要な児の情報提供を受けた場合、早期に訪問等を実施し、適切な時期に支援が受けられるよう療育や相談機関との情報提供を行った。 養育支援ネット件数 38件
取組名	評価	評価の根拠
思春期保健の充実	A	喫煙、飲酒、薬物乱用について、小学6年生及び中学3年生の保健の授業で内容を取扱い、正しい知識の普及に努めた。また、スクールカウンセラーを各中学校区に配置し、保護者も含めて相談支援を実施した。 健康課では一部の高校生に向けて妊娠や喫煙、飲酒などの知識の普及を行った。
取組名	評価	評価の根拠
地域全体による子育て支援	A	地域にある社会資源等の啓発を行い、関係機関と子育て支援プラン検討会等を行い、連絡調整を強化した。
取組名	評価	評価の根拠
虐待予防対策	A	赤ちゃん訪問や健診など様々な機会を通して虐待のリスクの有無を確認し、子育て支援プラン検討会等を通して、必要な方へは関係課と連携して支援を行った。 検討会 12回/年 検討件数 117件/年
課題と今後の方向性		
外国人や精神疾患、経済的困窮のある妊産婦等細やかな支援が必要なケースが増加している。今後も子育てしやすい環境整備に努めるとともに、適切な時期に支援が受けられるよう関係機関との連携強化をしていく。		

第2章	将来を担う次世代の健康と生涯現役社会づくり
2 こころの健康づくり	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
A	様々な機会を通して、こころの健康に関する正しい知識の普及や相談窓口の啓発を行った。また、自殺対策推進本部会議やこころの健康づくりネットワーク会議を実施することで関係機関との連携をより強化できた。	A

◆取組み方針

- ・広報誌等により、こころの健康についての啓発を行うとともに、相談窓口の周知や、関係機関との連携により、啓発を行います。
- ・こころの健康に問題を抱える人に気づき、見守り、つなぐことができるよう、ゲートキーパーの養成を進めるとともに、気軽に相談や支援を受けることができるよう、相談体制の充実を進めます。
- ・誰も自殺に追い込まれることがないよう、加東市自殺対策計画に則り、相談体制の充実やうつ、自殺予防対策、地域のネットワークの構築等の取組を進めます。
- ・産科医療機関等関係機関と連携し、産後うつを予防する取組を進めます。

◆5年間の指標と目標

取組み内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
日常生活でのストレスや不安をいつも感じている人の割合（％）	— 25.7	—	—	—	—	—	23.0	
心配ごとや悩みの相談先がない人の割合の減少（％）	— 13.9	—	—	—	—	—	12.5	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
こころの健康づくりの啓発	A	広報誌やホームページ、ケーブルテレビ、こころの健康づくりネットワーク研修等でこころの健康に関する正しい知識の啓発を行った。 こころの健康づくりネットワーク研修参加者数 49人
相談体制の充実	A	相談窓口一覧チラシを作成し、妊産婦や子育て世代や、PTA会員等に配布した。また、庁内各窓口や医療機関等に設置した。 相談窓口一覧チラシ作成数 9,000枚
うつ・自殺予防対策	A	乳児家庭全戸訪問、まちぐるみ総合健診等の各保健事業でうつ予防の啓発やスクリーニングを実施した。 乳児家庭全戸訪問数 289人 まちぐるみ総合健診当日指導（睡眠）23人
地域のネットワークの構築	A	加東市自殺対策推進本部会議や加東市こころの健康づくりネットワーク会議で関係機関と連携しやすい体制を整えた。また、市職員全員を対象としたゲートキーパー研修を行った。 こころの健康づくりネットワーク会議 3回実施
課題と今後の方向性		
こころの健康に関する正しい知識の普及や相談窓口の周知を継続する。 こころの健康づくりネットワーク会議では、今後も各課の現状把握や連携強化を図っていく。		

第2章	将来を担う次世代の健康と生涯現役社会づくり
3 高齢者への介護予防の推進	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	地域でのまちかど体操教室や自主的な活動が継続できるよう支援し、高齢者のフレイル予防の知識に関する集団指導やフレイル対策についての啓発により、高齢者の介護予防の取組を推進できた。 まちかど体操教室の参加者の割合は微増しているが、目標値には達していない。	B

◆取組み方針

- ・早期に介護予防を進めることで、要介護（要支援）認定者の増加や重症化の防止を推進します。
- ・心身ともに健康な状態で生活が送れるよう、生涯学習やスポーツ活動の活性化、交流機会の充実を通じて生きがいづくりや仲間づくりを支援します。
- ・高齢者のみの夫婦世帯や、単身高齢者世帯が社会的孤立とならないよう、介護予防を実践する地域づくりを推進します。
- ・認知症に対する正しい知識の周知や相談支援体制の充実を図ることで認知症の人やその家族が安心して暮らすことができる地域をつくります。
- ・加東市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画に則り、高齢者をはじめとした市民が、可能な限り長い期間自立して生活できるようにする支援や重度化予防の推進、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境整備等を推進します。

◆5年間の指標と目標

取組み内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
フレイルを知っている人の割合（％）	—	—	—	—	—	—	20.0	
かとうまちかど体操教室の参加割合（65歳以上）（％）	— 12.7	13.2 13.0	13.7 12.7	14.2 12.5	14.8 13.6	15.4	15.8	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
高齢者の生きがいづくりの促進	B	敬老会は、コロナ禍において従来の形式での開催ができなかった地域もあったが、フレイル予防等の啓発チラシを記念品とともに届けることにより地域コミュニティの醸成を図りつつ、高齢者のひきこもり抑制や介護予防につなげた。シニアクラブでは、小規模グループへの支援を含め、高齢者の生きがいづくりに努めたが、減少傾向である。 シニアクラブ数：82クラブ
介護予防の充実	B	まちかど体操教室の普及とともに、高齢者の介護予防を促進し、自主的に取り組む地域やグループが継続できるよう支援した。 令和4年度まちかど体操教室は60か所で自主グループ数の増加には至らなかった。

課題と今後の方向性

コロナ禍で、高齢者の外出自粛によるフレイル対策が必要である。参加者への感染対策やフレイル対策についての啓発や、地域でのまちかど体操教室等自主的な活動が継続実施できるよう支援し、高齢者の生きがいづくりの促進と介護予防の取組を充実する。
また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の継続により、医療・介護・健診データを一体的に把握・分析し、高齢者のフレイル予防のための個別的支援や通いの場等において集団指導を行っていく。

第2章	将来を担う次世代の健康と生涯現役社会づくり
4 健康を支え守るための社会環境の整備	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	健康づくりを目的とした活動団体との連携や各関係機関の様々な事業や取組の機会での地域のつながりとなる支援を行ったが、評価指標では、自主グループの育成、サンサンチャレンジ協賛店登録数で目標に達していない。	B

◆取組み方針

- ・地域の支え合いやつながりを深めるため、地域における市民主体の活動を推進します。
- ・健康づくりを目的としたボランティアや自主グループ等の主体的な活動への支援を行うことで、市民全体による健康づくりの充実を図ります。

◆5年間の指標と目標

取組み内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている人の割合（％）	－ 3.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	4.5	
教室等の修了者や参加者の地域の自主グループ育成（か所）	－ 5	5 5	5 5	6 6	7 6	8	10	
サンサンサポーター登録数（人）	－ 103	103 114	103 123	105 123	107 123	108	110	
加東サンサンチャレンジ協賛店登録数（店舗）	－ 72	72 73	72 68	73 －	74 65	75	75	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
地域のつながりの強化	A	集い活動を媒体として、地域のつながりづくりを推進した。各地区で取組まれているいきいきサロンや各種団体の活動が再開されたため、活動の様子を情報発信し、啓発した。また、当事者団体やNPO法人等と協働し、支援が必要な人の「居場所づくり」に取り組んだ。
取組名	評価	評価の根拠
健康づくりを目的とした主体的な活動への支援	B	ヘルスアップ教室の参加者へ教室終了後に自主活動グループに繋がるよう支援した。また、加東市いずみ会や母子保健推進員、加東サンサンチャレンジ協賛店等健康づくりに関わる組織や団体の活動を支援したが、サンサンチャレンジ協賛店登録数は目標に達していない。
課題と今後の方向性		
地域のつながりとなる事業や健康づくりを目的とした主体的な活動への支援や連携を継続して実施する。		

第3章	栄養・運動・休養・飲酒・喫煙及び口腔に関する生活習慣の改善
1 栄養・食生活（加東市食育推進計画）	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	新型コロナウイルスの影響も考慮し、講座を中心に食育教室を実施したが、例年より実施回数が少なかった。その他、チラシの配布や広報誌、ケーブルテレビ等で正しい食生活の推進（和食の推進）を実施した。	B

◆取組み方針

- ・各世代に応じた正しい食生活に関する情報提供を行います。
- ・多様な暮らし方を支援するための食育推進を行います。
- ・食育活動を充実させるための連携強化、推進体制の充実を図ります。

◆5年間の指標と目標

取組み内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値	
朝食を毎日食べる人の割合（%）	幼児1～5歳	— 96.8	— —	— —	— —	— —	— —	100.0		
	児童、生徒6～11歳	— 96.9	97.4 93.9	97.9 97.6	98.4 96.2	99.0 96.4	99.5	100.0		
	児童、生徒12～14歳	— 93.3	94.4 —	95.5 —	96.6 94.3	97.8 94.0	98.9	100.0		
	20歳代	— 61.7	— —	— —	— —	— —	— —	— —	68.0	
	30歳代	— 80.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	85.0	
	夕食後間食をとることが週3回以上ある人の割合の減少（%）		— 34.5	— —	— —	— —	— —	— —	— —	31.0
食育に関心がある人の割合（非常に関心がある＋どちらかといえば関心がある）（%）	男性	— 60.5	— —	— —	— —	— —	— —	— —	67.0	
	女性	— 78.3	— —	— —	— —	— —	— —	— —	86.0	
毎日、2食以上、主食、主菜、副菜がそろった食事をする人の割合（%）		— 57.8	— —	— —	— —	— —	— —	— —	64.0	
毎日、家族や友人と楽しく食事をする人の割合（%）		— 71.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	75.0	
野菜の一日平均摂取量350gの人の割合（5皿以上 1皿70g目安）（%）		— 2.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	30.0	
薄味を心がけている人の割合（心がけている＋少しは心がけている）（%）		— 66.6	— —	— —	— —	— —	— —	— —	73.0	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
栄養バランスのとれた食事等に関する普及啓発	A	各種保健事業（健診、相談、広報誌やケーブルテレビ等）を通じ、栄養バランスや野菜摂取、減塩等について個別指導やチラシ配布等で啓発した。また、季節の食材やもち麦を使った料理番組を6回放映した。
取組名	評価	評価の根拠

令和4年度加東市健康増進計画推進評価シート

正しい食習慣の定着への支援	B	児童館とこども園で食育教室を2回実施し、親子で楽しみながら、食への理解を促した。また、早寝・早起き・朝ごはんの普及も合わせて行った。小学校では、栽培した大豆を使った豆腐作り教室を2回実施、中学校では和食をテーマに料理教室（3回）を行い、食への関心を高めた。新型コロナウイルスの影響で例年より実施回数が少なかった。
取組名	評価	評価の根拠
加東市いずみ会（食生活改善推進員協議会）活動の充実	B	フレイル予防や飾り切り等の会員研修を3回実施し、北播磨管内研修で学んだ防災食等についての各支部研修も行った。研修を通して地域での活動時に必要な知識等を学習し、会員同士の交流する機会としたが、新型コロナウイルスの影響で調理実習ができなかった。
取組名	評価	評価の根拠
関係機関、関連事業との連携強化	A	学校食育推進委員会等で、食育の状況と課題について、学校、関係機関、地域と共通理解し、食育推進に関する情報交換等を行った。また、関係課と連携して特産品のもち麦の普及啓発について、「もち麦を活かしたまちづくり推進会議」にて各グループごとに事業提案を行った。
課題と今後の方向性		
若い世代のアプローチが必要であり、引き続き、様々な機会でも普及啓発に努めていくため、関係機関等と情報交換・情報共有をすすめ、食育課題に取り組んでいく。		

第3章	栄養・運動・休養・飲酒・喫煙及び口腔に関する生活習慣の改善
2 身体活動・運動	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
A	ヘルスアップ教室の開催や自主グループの紹介を行い、住民が地域で気軽に継続して参加できる運動の機会の提供や、広報誌にて運動に関する情報提供を行った。	A

◆取組み方針

- ・運動習慣を实践、継続する人を増やすため、市オリジナル体操の周知、運動をテーマとした健康教育の開催等、身近な地域において気軽に参加できる運動機会の提供を進めます。
- ・地域の資源等を有効に活用し、地域や住民の自主活動による運動の取組が展開、継続されるよう、自主グループのリーダー育成に努めます。
- ・健康教育を積極的に展開し、ロコモティブシンドロームやサルコペニアの予防について普及啓発を行います。

◆5年間の指標と目標

取組み内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
日常生活における歩数 （1日の歩数）（歩）	男性	－ 6,142	－	－	－	－	－	7,200	
	女性	－ 6,706	－	－	－	－	－	7,700	
1日30分以上の運動を週2回 以上、1年以上続けている人 の割合（％）	男性	－ 20.6	－	－	－	－	－	24.5	
	女性	－ 20.4	－	－	－	－	－	24.5	
意識的に運動を心がけている 人の割合（％）	男性	－ 57.5	－	－	－	－	－	63.0	
	女性	－ 64.3	－	－	－	－	－	70.0	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
身体活動や運動に関する情報提供	A	広報誌やケーブルテレビを活用し、身体活動や運動の重要性等について情報提供を行った。
取組名	評価	評価の根拠
日常生活における歩数の増加	A	広報誌にて「プラス・テン」（毎日10分身体を多く動かそう）の普及啓発を行った。
取組名	評価	評価の根拠
運動習慣者の割合の増加	B	ヘルスアップ教室等の保健事業を通して、手軽にできる筋力トレーニングやストレッチ、自主グループの紹介を行った。広報誌にて「プラス・テン」（毎日10分身体を多く動かそう）の普及啓発を行った。健診受診者のうち、1回30分以上の運動習慣ない人の割合（KDB）は61.7%（R3：60.5%）と前年度より悪化した。
取組名	評価	評価の根拠
運動しやすいまちづくり・環境整備	A	加東まちかど体操教室等身近な公民館や集会所での運動教室を開催し、高齢者の運動を促す関係づくりを支援した。また、ヘルスアップ教室を実施し、地域や自宅でも運動を実践できるよう支援した。 まちかど体操教室 60か所

課題と今後の方向性

地域の資源等を有効に活用し、地域や住民の自主的な運動の取り組みが継続されるよう、今後も運動に関する情報提供をするともに、関係機関とも連携して、運動しやすい環境整備に努めていく。

第3章	栄養・運動・休養・飲酒・喫煙及び口腔に関する生活習慣の改善
3 休 養	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評 価	評価の根拠	
A	広報誌を通じた睡眠の重要性等に関する知識の普及啓発や健診時の個別に相談は実施できた。また、健診受診者のうち（KDB）データでは、睡眠不足の人の割合は、前年より改善がみられた。	A

◆取組み方針

・睡眠不足の弊害や健康な睡眠のための生活習慣の大切さ、睡眠と心身の健康の関係、ストレス対策等、休養をとることについての重要性について、情報提供による普及啓発を行います。

◆5年間の指標と目標

取組み内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少（％）	－ 29.0	－	－	－	－	－	26.0	
睡眠を助けるためにアルコールを飲む人の減少（％）	－ 29.0	－	－	－	－	－	14.5	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
睡眠の重要性の普及啓発	A	広報誌にて睡眠の重要性について啓発した。また、まちぐるみ総合健診において睡眠に関して相談を希望された方に、個別に相談に応じた。健診受診者のうち、睡眠不足の人の割合（KDB）は、29.3%（R3：30.0%）と前年度より改善。
取組名	評価	評価の根拠
心身の疲労回復に関する知識の普及啓発	A	広報誌にて心身の健康や休養の重要性について啓発した。また、まちぐるみ総合健診において睡眠に関して相談を希望された方に、個別に相談に応じた。
課題と今後の方向性		
<p>今後は広報誌以外の機会を活用し、継続して睡眠の重要性や心身の疲労回復に関する知識の普及啓発を行い、市民の心身の健康の保持に向けた取組みを推進していく。</p>		

第3章	栄養・運動・休養・飲酒・喫煙及び口腔に関する生活習慣の改善
4 飲 酒	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評 価	評価の根拠	
B	広報誌や母子手帳交付時に、飲酒に関する知識の普及啓発を行った。また、適正飲酒の啓発や対象者の状況に応じて、必要時専門相談機関の情報提供を行うことができた。しかし、評価指標の妊娠中の飲酒率の減少では前年より悪化し、目標を達成していない。	A

◆取組み方針

- ・飲酒が心身に及ぼす影響について情報提供を行い、適切な飲酒についての普及啓発を行います。
- ・多量飲酒を防止するため、適度な飲酒に関する知識の普及啓発を行います。
- ・未成年者の飲酒による健康被害について啓発を行い、未成年者の飲酒を防止します。
- ・妊娠中の飲酒による健康被害について啓発を行い、妊婦の飲酒を防止します。
- ・アルコール依存症等、アルコール関連の問題を抱える人が適切な相談支援を受けることができるよう、体制整備を進めます。

◆5年間の指標と目標

取組み内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
1日3合以上飲酒する人の割合の減少（％）	男性	－ 6.7	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	6.0	
	女性	－ 1.5	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1.1	
1日あたりの飲酒の適量を知っている人の割合（％）	男性	－ 47.1	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	56.5	
	女性	－ 32.9	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	39.5	
生活習慣病リスクを高める飲酒をしている人の割合（男性2合以上、女性1合以上）の減少（％）	男性	－ 18.5	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	16.5	
	女性	－ 15.9	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	14.0	
妊娠中の飲酒率の減少（4か月児健診）（％）	妊婦	－ 1.1	1.0 0.7	0.9 0.3	0.7 0.3	0.5 1.1	0.2	0.0	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
適正飲酒の啓発	A	広報誌やケーブルテレビを活用し、アルコールが心身に与える影響や生活習慣病のリスクを高める飲酒量について啓発を行った。
未成年者の飲酒による健康被害の啓発	A	飲酒が及ぼす影響について、小学6年生及び中学3年生の保健の授業で内容を取扱い、正しい知識の普及に努めた。
妊娠中の飲酒をなくす	B	母子健康手帳交付時には飲酒の状況を確認し、妊娠中の飲酒による胎児への影響や危険性について保健指導を行ったが、妊娠中の飲酒率は前年より悪化した。
アルコール関連問題に対する早期発見と早期介入	A	まちぐるみ総合健診において、アルコール問題に関する保健指導を行い、必要に応じて健康福祉事務所など相談先の情報提供を行った。また、関係機関と連携し、加東市内での断酒会の開催に向けての協力を行った。

課題と今後の方向性

飲酒が心身に及ぼす影響について、引き続き普及啓発を行い、アルコール関連問題を抱える人の相談支援や専門機関との連携を行う。また、加東市内で断酒会の開催ができ、継続できるよう支援を行う。

第3章	栄養・運動・休養・飲酒・喫煙及び口腔に関する生活習慣の改善
5 喫煙	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	啓発や禁煙に向けた個別支援は実施しているが、育児中の両親の喫煙率は目標には達していない。	A

◆取組み方針

- ・喫煙や受動喫煙が及ぼす悪影響について周知、啓発を行い、多くの疾患のリスクの低減を推進します。
- ・未成年者の喫煙による健康被害について啓発を行い、未成年者の喫煙を防止します。
- ・妊娠中の喫煙による健康被害について啓発を行い、妊婦の喫煙を防止します。
- ・子育て世代の禁煙による子どもへの健康被害について啓発を行い、禁煙や分煙を促します。
- ・禁煙を希望する人には禁煙外来を紹介する等、喫煙、受動喫煙に関する知識の普及啓発を行います。

◆5年間の指標と目標

取組み内容		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
習慣的に喫煙している人の割合の減少（％）	男性	— 27.7	— —	— —	— —	— —	— —	14.0	
	女性	— 1.8	— —	— —	— —	— —	— —	0.9	
喫煙の影響について知っている人の割合（％）	喘息	— 42.0	— —	— —	— —	— —	— —	50.5	
	妊娠に関連した異常	— 71.2	— —	— —	— —	— —	— —	85.5	
	子どもへの影響	— 62.6	— —	— —	— —	— —	— —	81.5	
	COPD	— 35.3	— —	— —	— —	— —	— —	42.5	
育児期間中の両親の喫煙率の減少（4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の平均）（％）	父親	— 39.1	36.1 37.2	33.0 35.6	29.8 31.5	26.6 29.9	23.4	20.0	
	母親	— 5.2	5.0 4.7	4.8 3.5	4.6 4.0	4.4 4.7	4.2	4.0	
妊娠中の喫煙率の減少（4か月児健診）（％）		— 3.1	2.6 1.1	2.1 2.0	1.6 0.0	1.1 1.1	0.6	0.0	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
喫煙率の低下	B	喫煙が身体におよぼす影響の啓発を目標とした広報誌やホームページ、ケーブルテレビを活用した情報提供を実施した。また、禁煙希望者には個別支援を行ったが、禁煙に結びついた人は少ない。
未成年者の喫煙による健康被害の啓発	A	喫煙が健康に及ぼす影響について、小学6年生及び中学3年生の保健の授業で内容を取扱い、正しい知識の普及に努めた。高校生に向けて、チラシを配布し、喫煙による健康被害の啓発に取り組んだ。
妊娠中の喫煙をなくす	A	妊娠中の喫煙率は前年より増加しているが、母子健康手帳交付時に、妊娠中の喫煙、受動喫煙の影響について啓発しており、目標値に達している。

令和4年度加東市健康増進計画推進評価シート

取組名	評価	評価の根拠
子どもへの喫煙による影響をなくす	B	健診や相談等の機会を通して、両親の喫煙の有無を把握した。喫煙している家庭には受動喫煙による子どもへの健康被害に関する知識の普及啓発を行ったが、育児中の両親の喫煙率は目標に達していない。
取組名	評価	評価の根拠
受動喫煙のないまちづくり	A	広報誌、ケーブルテレビを活用し、受動喫煙防止に向けた啓発を行った。受動喫煙の防止等に関する条例（兵庫県）のチラシを庁舎2階ロビーに設置し、啓発を行った。
課題と今後の方向性		
今後も、喫煙による身体への影響について普及啓発や禁煙希望者へは個別の継続的な支援を行う。		

第3章	栄養・運動・休養・飲酒・喫煙及び口腔に関する生活習慣の改善
6 歯・口腔	

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	歯周病検診や妊婦歯科健診、乳幼児健診・教室等を通じて、歯科疾患の予防や口腔の健康についての正しい知識の普及・啓発を行い、定期的な歯科健診受診やかかりつけ歯科医を持つことの重要性を周知した。歯周病検診受診者数や40歳代で喪失歯のない者、定期的な歯面清掃する者の割合は微増しているが、目標値には達していない。	B

◆取組み方針

- ・歯科健診の受診促進や口腔ケアに関する情報提供等、歯、口腔の健康づくりに対する意識の向上を図り、歯周病等の歯科疾患を予防します。
- ・学校、職場、地域、医療機関等で、ライフステージに応じた歯科保健サービスを実施し、口腔の健康づくりを推進します。
- ・子どもの保護者に対して、乳幼児及び小中学生の口腔の健康や噛むことの重要性、食生活に関する情報提供を行います。
- ・かかりつけ歯科医をもつことの重要性を周知するとともに、高齢者においては口腔、嚥下機能を良好に保つことができるよう、歯科医等との連携を図り、口腔の健康づくりの取組を推進します。

◆5年間の指標と目標

取組み内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
20歯以上自分の歯を有する者の割合（70～84歳）（%）	— 88.8	88.8 81.8	88.8 86.2	88.8 80.6	88.9 80.2	88.9	89.0	
24歯以上自分の歯を有する者の割合（60歳代）（%）	— 87.4	87.5 84.7	87.6 86.3	87.8 91.0	87.9 86.4	87.9	88.0	
喪失歯のない者の割合（40歳代）（%）	— 80.0	80.3 85.2	80.6 79.4	80.9 71.8	81.3 80.3	81.7	82.0	
歯間部清掃用具を使用する人の割合（毎日+ときどき）（%）	— 59.8	— —	— —	— —	— —	— —	68.0	
定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合（%）	— 36.2	37.6 39.9	39.0 37.1	40.5 34.2	42.0 38.5	43.5	45.0	
過去1年間に歯科健診を受けた人の割合（%）	— 52.0	— —	— —	— —	— —	— —	60.0	
3歳児のう蝕（むし歯）のない児の割合（%）	— 92.2	92.3 93.3	92.4 92.4	92.5 92.8	92.7 95.0	92.8	93.0	
仕上げ磨きをする親の割合（1歳6か月児健診）（%）	— 70.9	71.5 72.3	72.1 80.0	72.8 71.6	73.5 73.3	74.2	75.0	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
歯・口腔に関する正しい知識の普及啓発	B	広報誌・ケーブルテレビを活用し、「歯の健康づくり」や「歯と口の健康習慣」についての啓発を行った。
取組名	評価	評価の根拠
乳幼児・学齢期のむし歯予防	A	健診や相談等の場を通して、歯科医師、歯科衛生士による子どもの歯科指導を実施し、虫歯予防の啓発を行った。 3歳児のう蝕のない児は95.0%と高い実績値であり、子どもの仕上げ磨きをする親の割合においても、令和3年度よりも高くなっていた。

令和4年度加東市健康増進計画推進評価シート

取組名	評価	評価の根拠
歯科健診の受診促進	A	まちぐるみ総合健診と併せて、20歳以上の市民を対象に無料で歯周病検診を実施した。また、パバママクラスに併せて、年2回妊婦を対象に妊婦歯科健診を実施し、受診者数は昨年度より増加した。 歯周病検診受診者数 403人 (R3: 389人) 妊婦歯科健診受診者数 28人 (R3: 16人)
取組名	評価	評価の根拠
歯科保健体制の整備	A	年1回歯科保健連絡会や、歯科衛生士との連絡会を開催し、課題や今後の方向性について協議を行った。 小野加東歯科医師会による年末年始休日診療を実施した。(令和4年度: 23件)
課題と今後の方向性		
引き続き、歯と口腔の健康づくりについて広く周知し、各ライフステージに応じた正しい知識の普及・啓発により、早期からの歯周疾患予防や定期的な受診の必要性、オーラルフレイル予防など、口腔の健康づくりをより一層推進する。 また、乳幼児健診や教室時の歯科指導に合わせて、保護者に対しても、歯・口腔の健康についての啓発と定期的な歯科受診の周知を行っていく。		

第4章	健康危機における健康確保対策

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	市民の健康危機管理に対する意識向上のため、感染症に関する知識の普及啓発や、医療機関等との連携により災害時や感染まん延時等の連携体制を確認できた。また、新型コロナワクチン接種を含め、円滑な予防接種体制の確保ができたが、予防接種割合の指標は目標に達していない。	B

◆取組み方針

- ・災害発生時に必要な対応ができるよう、兵庫県が作成する災害時の保健師活動ガイドラインの活用等、保健医療関係機関、団体の連携の強化を図るとともに、研修や訓練を通じて人材を育成します。
- ・感染症予防対策をはじめ、感染症に関する知識の普及啓発と情報提供を推進します。
- ・災害に備えて、高齢者、乳幼児、疾病がある人等個人の心身の状況に応じて、食料や飲料水等の備蓄、服用薬の管理や確保、医療機関や薬局の連絡先等を把握することについて、情報提供を行います。
- ・災害時等に備えた非常食等の備蓄の重要性等の周知、啓発を図ります。
- ・感染症予防のための予防接種の重要性について周知し、市民が適切に予防接種を受けることができるよう体制を整備します。

◆5年間の指標と目標

取組み内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
災害時に備えて非常食を準備している世帯の割合（％）	－ 23.7	－	－	－	－	－	60.0	
日頃から感染予防に取り組む人の割合（％）	手洗い	－ 81.0	－	－	－	－	95.0	
	うがい	－ 53.8	－	－	－	－	89.0	
	マスクの常備	－ 37.6	－	－	－	－	59.0	
	ワクチン接種	－ 30.1	－	－	－	－	48.0	
麻しん及び風しん予防接種の接種割合（第2期）（％）	－ 96.7	96.7 92.4	96.7 102.0	96.8 90.5	96.8 89.4	96.9	97.0	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
感染症や災害に関する知識の普及啓発	A	市民の自主的な感染症対策の知識の普及を目的として、新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本である「手洗い」や「マスクの着用」についての啓発を、広報誌、ケーブルテレビ、チラシにより行った。
感染症や災害時等の連携体制の構築	A	災害発生時に必要な対応ができるよう、加東市総合防災訓練を通じて関係機関との連携体制を確認した。また、新たな感染症のまん延防止対策や災害時に備え、継続してマスクや消毒液等の備蓄品を管理及び保管した。
予防接種率の向上	B	医師会や医療機関と連携・調整し、円滑な予防接種の体制を確保した。また、予防接種に関する情報を発信し、麻しん及び風しん予防接種については、未接種者へ再勧奨を実施することで、接種率の向上を図ったが、R4目標値に届いておらず、R3実績値より下がった。

課題と今後の方向性

市民が、災害時や感染まん延時において、予防行動がとれるように知識の普及啓発を行う。また、感染症や災害時においては、関係機関との連携、調整により体制を整える。

第5章	地域医療の確保

一次評価（行政による内部評価）		二次評価 （委員による評価）
評価	評価の根拠	
B	北播磨医療圏域内の会議等への参画や関係機関との連携により、休日医療体制の確保や多職種との顔の見える関係づくりができたが、指標である子ども医療電話相談（#8000）を知っている親の割合は目標に達していない。	B

◆取組み方針

- ・兵庫県保健医療計画に基づく対策についての検討をもとに、本市においても小児救急、周産期医療等、地域医療体制の整備を図ります。
- ・住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、必要に応じた医療を受けられる体制（二次保健医療圏域における地域完結型医療）整備に努めます。
- ・限りある医療資源を有効に活用するために、かかりつけ医をもつことや適性受診についての周知、啓発を推進します。

◆5年間の指標と目標

取組み内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	上段：目標値 下段：実績値
子ども医療電話相談（#8000）を知っている親の割合（4か月児健診）（%）	-	92.6	92.7	92.7	92.8	92.9	93.0	
かかりつけ医をもつ人の割合（%）	6歳未満児	-	-	-	-	-	100.0	
	20歳以上65歳未満	94.5	-	-	-	-	-	
かかりつけ歯科医をもつ人の割合（%）	20歳以上65歳未満	-	-	-	-	-	84.0	
		75.4	-	-	-	-	-	

◆行政の取組

取組名	評価	評価の根拠
地域医療体制の整備	A	北播磨保健医療福祉連絡協議会など医療機関や関係機関との会議に参加し、様々な課題を情報共有することで、地域医療体制の整備を行った。
保健・医療・福祉の連携の強化	A	在宅医療・介護推進連絡協議会等で保健、医療、福祉との情報共有や支援連携の強化を図ることで多職種とのネットワークを構築した。また、研修を通じて保健、医療、福祉等の人材の資質向上を行った。
救急医療体制の確保	A	小野市・加東市医師会による兵庫県健康大学講座で医療情報の普及啓発を行うと共に、小野市・加東市医師会の協力を得て、休日救急医療の体制を確保した。
小児医療体制の啓発	B	子ども医療電話相談（#8000）の利用について、母子健康手帳交付時や、新生児訪問時、4か月児健診時の個別周知により普及啓発を行ったが、指標は目標達成できなかった。
周産期医療の充実	A	養育支援ネットを活用し、ハイリスク妊産婦について、病院や開業医との綿密な情報共有と連携の強化を図った。（38件）

令和4年度加東市健康増進計画推進評価シート

取組名	評価	評価の根拠
がん対策	A	がん予防に関する普及啓発およびまちぐるみ総合健診にてがん検診を実施した。また、がん患者アピアランス事業等でがん患者の療養生活を支援した。（アピアランス助成人数：8人）
取組名	評価	評価の根拠
精神疾患（認知症を含む）	A	ゲートキーパー研修の開催やこころの相談窓口の普及啓発による自殺対策の推進や、認知症について正しい知識の普及啓発を図り、認知症初期集中支援事業により早期発見、早期診断、早期治療、早期支援を推進した。（認知症相談延件数：197件）
取組名	評価	評価の根拠
地域包括ケアシステムの構築	A	医療と介護の連携強化のため地域ケア会議、在宅・介護連携推進協議会及び地域ケア・かかりつけ医連絡会実施により、包括的な地域ケア体制を整えた。
課題と今後の方向性		
北播磨医療圏域での医療の確保に取り組むとともに、看護師の安定確保に取り組む。また、市民が自らの症状に応じて、適切に医療サービスが受けられるよう、かかりつけ医を持つことの重要性について、周知啓発する。		